

天満宮は【天神様】と呼ばれ学問の神様として広く知られています。これは御祭神である菅原道真公が和歌や漢詩に優れた学者であったことに由来しています。道真公は、卓越した学識をもとに当時の朝廷に重用された政治家でもありました。しかし、学者としては異例の出世をしたことから妬まれ、無実の罪で九州の太宰府に左遷されてしまいます。そして

皆様方が普段お参りして下さる諏訪神社の拝殿向かって右奥には、坂本天満宮が祀られており、手前に臥した神牛像があるのをご存じでしょうか。参拝の順路とは反対側にあり、少し奥まっていることから気づかない方も多くおられるようです。諏訪神社では以前から毎年、合格祈願祭を行っており、この坂本天満宮は平成四年に京都の北野天満宮の御祭神《菅原道真公》を勧請して創建されました。それ以来、勉学に励む多くの学生さんやスキルアップのために資格取得を目指す方々の抛り所となってきました。



坂本天満宮と牛

宮司 荻野正道

二年後、不遇のうちにこの地で生涯を終えることになるのです。道真公の遺言により、その亡骸は牛車に乗せ、牛に曳かせたそうです。牛が歩みを止め、うずくまって動かなくなった場所に道真公は葬られました。これが現在、太宰府天満宮の本殿のある所です。天満宮に臥牛像があるのはこうした故実によるものであるとされています。

道真公が亡くなった後、都では天変地異が続ききました。道真公を太宰府に追いやった人々も落雷に会い、命を落としたり大けがをしたりしたそうです。世間の人々はこれを道真公の祟りであると考え、道真公は雷神【天神】になったと噂されたそうです。雷は雨の前兆であり農耕には欠かせないものです。農耕民族である私たちの祖先は、雷神（道真公）を祀り、同じく大切な労働力であった牛をシンボルと捉えていたようです。他にも道真公と牛の関わりを示す伝説は多く、その深い結びつきから臥牛像は御神牛（神の使い）として多くの天満宮で静かに参拝者を見守っています。



学問の神、農耕の神、その人柄から正直・至誠の神、冤罪を晴らす神、正義の神、芸能の神、書道にも秀でていたことから書道の神、厄除の神など多くの御神徳を持つ天満宮。諏訪神社にご参拝の折にはぜひ坂本天満宮にもお立ち寄りください。

神職氏子総代ご紹介

- | | | |
|----------|-------------|-------------|
| 宮司 荻野 正道 | 【一 区】後藤 正樹 | 【六 区】大前 隆也 |
| 禰宜 西尾 武士 | 【二 区】松井 智靖 | 【七 区】可知 幸夫 |
| 会長 鈴木 初男 | 【三 区】田中 一美 | 【七 区】河津 進 |
| | 【四ノ一区】山崎 佑助 | 【八 区】鵜飼 淳一 |
| | 【四ノ二区】新田 耕一 | 【曙 区】吉村 仁郎 |
| | 【五 区】新田 隆幸 | 【新町区】林 正己 |
| | 【五 区】松村 和政 | 【二美区】柴田 慎一 |
| | 【六 区】鈴木 友之 | 【エルザ区】宮下 博行 |



※諏訪神社氏子の皆様へ諸祭儀のご要望をお受け致します。
・七五三・初宮詣・神前結婚式
出張祭（地鎮祭・上棟祭・家祈祷・神葬祭等々）
御祈祷（新車清祓・受験合格祈願・安産祈願・厄除け等々）
諸祭儀のご要望等御用の方はお気軽にお電話ください。



ホームページを開設しました。

QRコード又は下記 URL にて
検索してみてください。

<https://www.sakamotojinja-suwa.com/>

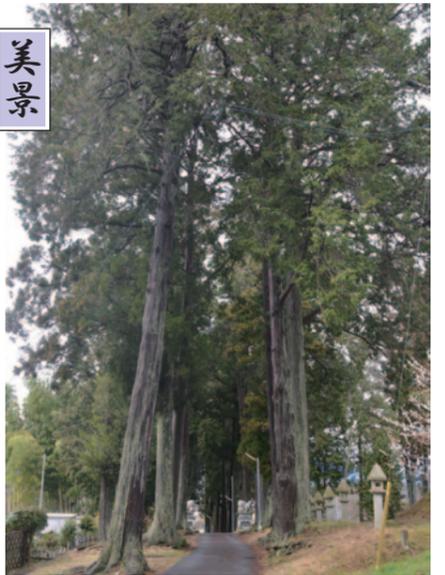
フェイスブックに神社の最新情報を
アップしています

《編集後記》年間二回発行の予定です。氏子の皆さんからご意見をお寄せいただきたく存じます。お宮に関する思い出やご要望・ご質問、お参り下さった感想など、何でも結構です。

【連絡先】宮司：荻野正道(携帯) 090-9949-7988

美 景 発見

第二鳥居から参道を望む



第二鳥居と青葉のみみじ



合格祈願祭

令和三年一月十日、坂本天満宮に於いて天神祭・合格祈願祭を執り行いました。今回は十九名の方の入学試験、就職試験、資格取得試験合格という大願成就を祈願いたしました。以前は直接ご本人が祭礼に参列し祈願していましたが、受験シーズン真っただ中であり共通テストの直前でもあることから、近年は祈願したいことを記入した絵馬を事前に納めていただき、神前にて祈禱するという方法で行っております。今年も多くの方から大願成就の喜びの声や願いを託された方からの感想が寄せられていますので一部紹介させていただきます。



◇恵那高校の受験に向けて、新年に友人とお参りに出かけました。小さな頃から両親に連れられてよくお参りに来ていました。いつも神様に見守って頂いている気がしていたので、感謝の気持ちで参拝しました。そして念願の恵那高校に合格することが出来ました。これからも参拝を続けていきたいと思えます。《原 新拓さん》

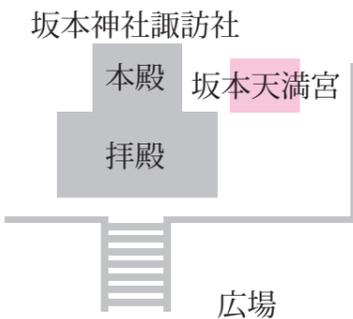
◇父親が氏子総代をしていたので、いつも神社の話を聞いていました。今年の春、受験をする為、坂本天満宮の話を聞いて、初詣の時に絵馬を奉納して参拝しました。甲斐あって、救急救命士の資格を得ることができました。《新田雅幸さん》



坂本天満宮は諏訪社本殿の右側にございます。ご参拝にお越しの際は、是非天満宮もご参拝くださいませ。



坂本天満宮拝殿



(2)

祈年祭

令和三年二月二十一日

祈年祭は祝詞ではとしごひのみまつりと読みます。豊作を祈る祭りという意味です。年の初めにあたり(宮中では二月十七日)豊作祈願と国民の平安を祈る祭りとして行われて参りました。我が国は古くから農耕文化で栄えて来ましたが、様々な自然現象に影響を受けるため、ひたすら神々のご加護を仰ぐ、生活に切っても切れない大切なお祭りとして引き継がれてきたものです。また、工業・商業(たくみのわざ・あきないのわざ)を始め萬の産業(よろずのなりはひ)様々な産業を進め、ますます榮えますようお祈りしております。春にはこの祈年祭でその年の五穀豊穰を祈り、秋にはその収穫に感謝する新嘗祭を行っています。

合格祈願祭

令和三年一月十日、坂本天満宮に於いて天神祭・合格祈願祭を執り行いました。今回は十九名の方の入学試験、就職試験、資格取得試験合格という大願成就を祈願いたしました。以前は直接ご本人が祭礼に参列し祈願していましたが、受験シーズン真っただ中であり共通テストの直前でもあることから、近年は祈願したいことを記入した絵馬を事前に納めていただき、神前にて祈禱するという方法で行っております。今年も多くの方から大願成就の喜びの声や願いを託された方からの感想が寄せられていますので一部紹介させていただきます。



◇恵那高校の受験に向けて、新年に友人とお参りに出かけました。小さな頃から両親に連れられてよくお参りに来ていました。いつも神様に見守って頂いている気がしていたので、感謝の気持ちで参拝しました。そして念願の恵那高校に合格することが出来ました。これからも参拝を続けていきたいと思えます。《原 新拓さん》

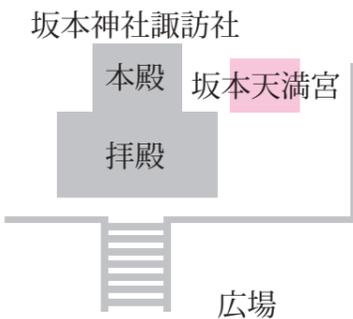
◇父親が氏子総代をしていたので、いつも神社の話を聞いていました。今年の春、受験をする為、坂本天満宮の話を聞いて、初詣の時に絵馬を奉納して参拝しました。甲斐あって、救急救命士の資格を得ることができました。《新田雅幸さん》



坂本天満宮は諏訪社本殿の右側にございます。ご参拝にお越しの際は、是非天満宮もご参拝くださいませ。



坂本天満宮拝殿



(2)

森林組合にて間伐作業 (二月八日)



令和二年度 岐阜県の清流の国ぎふ森林・環境基金事業により境内約二十一、五ヘクタールの除伐(成長の悪い木を伐る事)を行いました。境内に木漏れ日がさし明るくなりましたので皆様方に清々しい気持ちでお参りいただけることと思います。

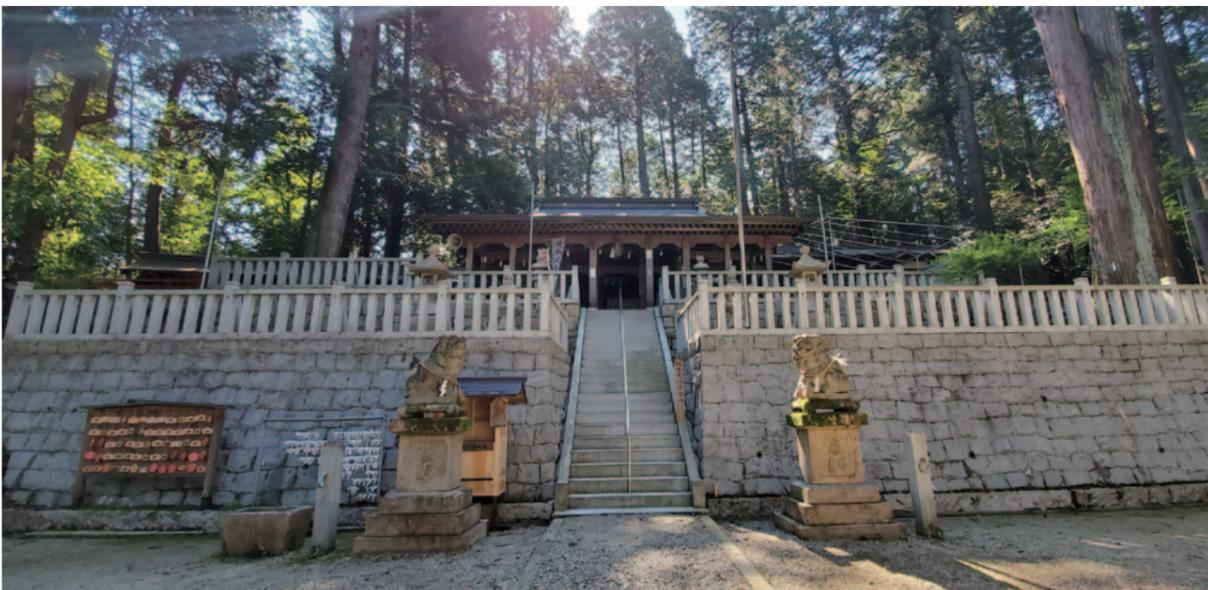
(3)

境内環境整備事業

諏訪神社では、氏子総代役員をはじめ、若気会、奉賛会、氏子総代OB会の皆様の活動で清々しい環境が保たれている状況です。神社をきれいに清々しくするとその神社は栄えると言いますが、最近諏訪神社を訪れる人が増えていきます。こうしたことから、今後も引き続き環境整備に力を入れてまいりたいと考えています。

古御神札古御守納所の改修

古くなったお守りやお札などを納める納所の改修を行いました。この納所は、神社で一般的に取り扱っているご神札やお守り、破魔矢や縁起物の熊手などを納めるところです。人形や干支の置物、神棚、位牌等は納めないようにお願いします。



令和二年度 岐阜県の清流の国ぎふ森林・環境基金事業により境内約二十一、五ヘクタールの除伐(成長の悪い木を伐る事)を行いました。境内に木漏れ日がさし明るくなりましたので皆様方に清々しい気持ちでお参りいただけることと思います。

(3)